

# Silicon Graphics® I600SW

## フラットパネルモニタ

オーナーズガイド

ドキュメント番号 007-3869-004JPN

---

**©1998-1999, Silicon Graphics, Inc.— All Rights Reserved**

このマニュアルの内容は、Silicon Graphics, Inc. の書面による許可なくして、いかなる形式によってもその一部または全部をコピーまたは複製することはできません。

**RESTRICTED RIGHTS LEGEND**

Use, duplication, or disclosure by the Government is subject to restrictions as set forth in the Rights in Data clause at FAR 52.227-14 and/or in similar or successor clauses in the FAR, or in the DOD, DOE or NASA FAR Supplements. Unpublished rights reserved under the Copyright Laws of the United States. Contractor/manufacturer is Silicon Graphics, Inc., 1600 Amphitheatre Pkwy, Mountain View, CA 94043-1351.

Silicon Graphics は Silicon Graphics, Inc. の登録商標です。Silicon Graphics ロゴ、および SGI は Silicon Graphics, Inc. の商標です。Post-it は 3M の登録商標です。

# 目次

はじめに.....	v
<b>1. フラットパネルモニタのセットアップと使い方 .....</b>	<b>1</b>
標準 CRT モニタと併用する場合のフラットパネルモニタの使い方.....	1
フラットパネルモニタを箱から取り出す .....	2
フラットパネルモニタについて .....	3
ケーブルの接続 .....	4
フラットパネルモニタの電源を投入する .....	5
フラットパネルモニタの位置調節 .....	6
フラットパネルモニタの電源を切断する .....	7
モニタ台からの取外しと取付け方 .....	7
モニタ台からの取外し方 .....	8
モニタ台の取付け方 .....	9
スクリーンセーバーの使い方 .....	9
輝度の調節 .....	10
ホワイトバランスの調節.....	10
センサーポートについて.....	10
使用上の注意事項と表示角度 .....	11
フラットパネルモニタの施錠方法 .....	13

<b>2.</b>	<b>トラブルシューティング</b>	<b>15</b>
	LED ランプが示すモニタの状態	15
	トラブルシューティングのヒント	16
	フラットパネルモニタに画像が表示されない	17
	画像が明るすぎるまたは暗すぎる	18
	モニタの電源投入直後の画像が薄暗い	18
	モニタ上の明るい点	18
	フラットパネルモニタの診断テスト	18
	Silicon Graphics サポートサービスの連絡先	19
	フラットパネルモニタの返送	21
<b>3.</b>	<b>メンテナンス、技術仕様、規制準拠情報について</b>	<b>23</b>
	フラットパネルモニタの清掃および一般的手入れ	23
	技術仕様	24
	製造者による規制準拠の告知	27
	シールドケーブル	27
	静電放電について	27
<b>A.</b>	<b>準拠の告知</b>	<b>29</b>
	FCC クラス B の準拠	29
	電磁放射	30
	ENERGY STAR	31
	TCO '95 ガイドライン	31
	カナダの規制告知（カナダのみ）	31
	CE 告知	32
	VCCI 告知（日本のみ）	32
	韓国の規制告知	32
	NOM 024 情報（メキシコのみ）	33
	EN 55022 準拠（チェコ共和国のみ）	33
	ポーランドの規制告知（ポーランドのみ）	34
<b>B.</b>	<b>Silicon Graphics フラットパネルモニタサービス保証書</b>	<b>35</b>

## はじめに

この度はフラットパネルモニターをご購入頂きまして誠にありがとうございます。  
プロフェッショナルな品質の本モニターには、デジタルインターフェイス、  
24 ビットカラー、1600 x 1024 ピクセルの画面解像度といった機能が装備  
されておりますので、高品質な画像と精度をお楽しみいただけます。

本モニターは OpenLDI デジタルフラットパネルインターフェイスをサポートするグラフィックスアダプタカード、システム、またはその他のデバイスに接続する必要があります。本モニターを通常のアナログ VGA コネクタに直接接続することはできません。

本書には、このフラットパネルモニター特有の説明が記載されています。  
モニターを作動させるアダプタボードがユーザーのコンピュータに設置されているものと仮定して、説明は始められています。コンピュータ、アダプタボード、その他周辺機器に関連する情報はそれらのマニュアルを参照してください。

- 第 1 章、「フラットパネルモニターのセットアップと使い方」では、フラットパネルモニターの開梱方法、セットアップ方法、調節方法を説明します。
- 第 2 章、「トラブルシューティング」には、トラブルシューティングおよび製品サポート情報が記載されています。
- 第 3 章、「メンテナンス、技術仕様、規制準拠情報について」では、フラットパネルモニターの手入れ方法を説明し、また技術情報および規制準拠情報が記載されています。
- 付録 A、「準拠の告知」には、さまざまな規制および規格を定める団体に関する準拠情報が記載されています。
- 付録 B、「Silicon Graphics フラットパネルモニターサービス保証書」には、保証に関する情報が記載されています。



## 第1章

# フラットパネルモニタのセットアップと使い方

本章ではフラットパネルモニタの開梱方法およびコンピュータへの接続方法を説明します。

フラットパネルモニタはユーザーのコンピュータにインストールされたアダプタボードを使って作動します。このアダプタボードおよびソフトウェアは出荷前に工場ですべてインストールされる場合もありますし、ユーザーが自分でインストールする必要がある場合もあります。

- フラットパネル用のアダプタボードおよびソフトウェアが既にインストールされている場合は、このまま本章の説明に従ってください。
- アダプタボードおよびソフトウェアをインストールする場合は、アダプタボードに添付の説明書と CD を使ってまずインストールしてください。コンピュータ各機種別の説明については CD にあるマニュアルまたはリリースノートをまず読んでから、本書を参照してください。

また、ご使用のコンピュータ機種固有の情報に関してはそのマニュアル（ユーザーズガイドなど）を参照してください。

---

---

## 標準 CRT モニタと併用する場合のフラットパネルモニタの使い方

フラットパネルモニタを標準ブラウン管（CRT）モニタと併用する場合は、次の点に留意してください。

- フラットパネルモニタと従来の CRT モニタを同じグラフィックスアダプタボードに接続しても同時に使用できません。PCI または AGP ボードにフラットパネルモニタおよび CRT モニタを接続している場合は、システムのセットアップユーティリティを使ってプライマリ（デフォルト）モニタを選択する必要があります。
- システムに PCI または AGP カードが別々に 2 枚ある場合は、フラットパネルモニタと CRT モニタを同時に使える場合があります。詳細は、システムのユーザーズガイドおよびアダプタボードのマニュアルを参照してください。

---

---

## フラットパネルモニタを箱から取り出す

フラットパネルモニタを箱から取り出し、セットアップするには、次の手順に従います（箱からの取り出し方法は箱にも記載）。梱包材はアフターサービス用にモニタを返送する際に使用するため、保管しておいてください。

1. 箱を開け、一番上にある段ボール紙を取り除き、AC 電源コードを取り出します。
2. モニタの梱包テープを使って、モニタとモニタ台を保護用発砲スチロールといっしょにゆっくりと箱から引っ張り出し、水平な場所に置きます。
3. モニタ上部の発砲スチロールを取り除き、モニタ本体を本体下部の発砲スチロールから引き出したあと、ビニール袋から取り出します。
4. 画面用の保護フィルムを角からゆっくりと剥がします。この時、指紋がコーティングされたガラス表面に付かないように注意してください。剥がした保護フィルムはアフターサービス用にモニタを返送する際に使用するため、保管しておいてください。

**注意：** この画面は光学フィルムでコーティングされたガラスから作られており、モニタ構成部品の中で最も高額です。ペンなど、先の尖ったもので叩いたりするとガラス表面に傷がついたり、割れることがあります。



5. ACアダプタの入った箱を発砲スチロールの梱包材から取り出し、ACアダプタをその箱から取り出します。

3ミリ六角ねじ用のドライバも同梱されています。モニタをモニタ台から取り外し、アームや壁に取付ける場合などは、このドライバを使います。

以下のセクションでは、フラットパネルモニタとそのセットアップ方法を説明します。

---

## フラットパネルモニタについて

フラットパネルモニタの各部について理解しておく必要があります。図 1-1 はモニタの各部名称を示しています。

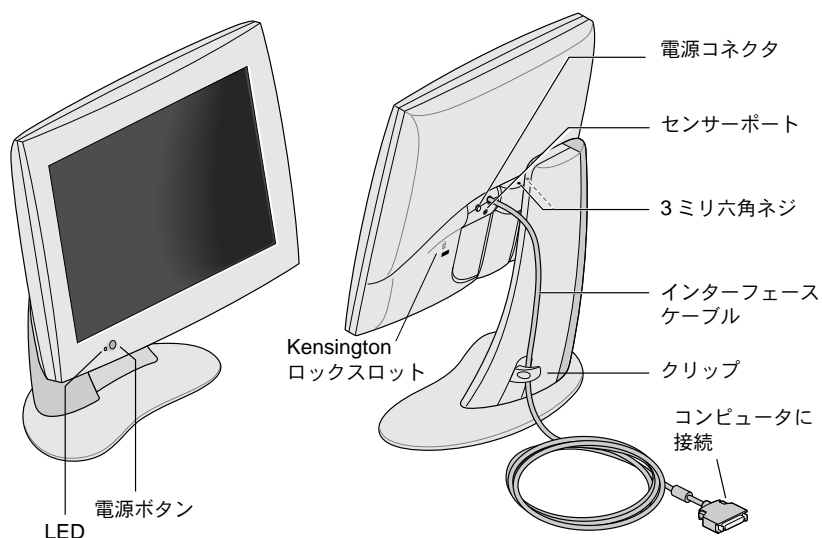


図 1-1 フラットパネルモニタの正面および背面

---

## ケーブルの接続

ユーザーのコンピュータにフラットパネルモニタを認識させるためには、**まずモニタを接続してから、コンピュータの電源を投入します。**ケーブルを接続するには、次の手順に従ってください。

1. コンピュータの電源を切断します。
2. フラットパネルモニタのインターフェイスケーブルをコンピュータの正しいコネクタに接続します (図 1-1 参照)。コンピュータのユーザズガイドも参照してください。
3. インターフェイスケーブルをスタンドの背面にあるクリップに引っかけます (図 1-1 参照)。
4. 電源ケーブルを次のように接続します。
  - AC アダプタから DC 電源ケーブルをフラットパネルモニタ背面にある DC 入力コネクタへ接続します (図 1-2 参照)。

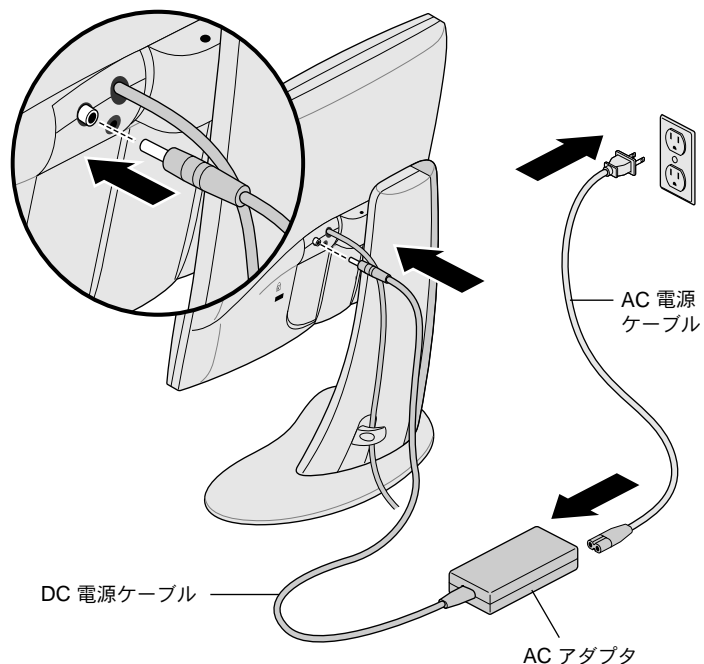


図 1-2 電源ケーブルと AC アダプタの接続

- 電源ケーブルをスタンドの背面にあるクリップに引っかけます。
- AC電源コードの一方をACアダプタに接続し、もう一方をコンセントに差し込みます（図には米国仕様の AC アダプタおよび AC 電源コードが使われていますが、国によって異なる場合があります）。

**メモ：** AC アダプタは、どの電源（50-60 Hz、110-220 VAC）からの交流電圧でも自動的に調節するので、変圧器を追加して使用する必要はありません。

**注意：** フラットパネルモニタの電源コードは、必ずアースされた壁コンセントに挿入してください。

---

---

## フラットパネルモニタの電源を投入する

フラットパネルモニタの電源を投入するには、正面にある電源ボタンを押します。この電源ボタンの位置については、図 1-1 を参照してください。システムからモニタに信号が送信されると、電源ボタンの隣にある LED ランプが緑色に点灯します。

フラットパネルモニタが点灯せず、LED ランプが黄色く点滅する場合には、インターフェースケーブルがコンピュータの正しいコネクタにしっかりと固定されていることを確認します。

詳細情報は、第 2 章、「トラブルシューティング」を参照してください。

---

## フラットパネルモニタの位置調節

フラットパネルモニタの高さおよび角度は、ユーザーが使いやすいように調節できます。モニタの高さは、最大 95 mm まで調節できます。

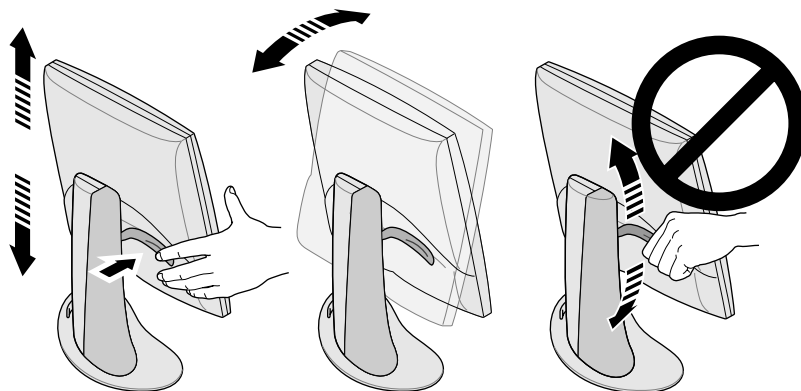


図 1-3 モニタの高さおよび角度の調節

モニタの位置を高くするには、

1. モニタ下部または右端を右手で支えます。
2. モニタの左端を左手でつかみ、背面にあるレバーを手前に引きながら、モニタを目的の高さまで引き上げます。

モニタの位置を低くするには、

1. 左手でレバーを手前に引き、すぐにレバーを放します。

レバーを引くたびに、モニタは1段階ずつ下がります。全部で10段階あり、一度に9.5 mm ずつ下げられます。

2. この手順を繰り返して、高さを調節します。または、レバーを押しながら、適当な高さまでモニタを押して調節します。

モニタの角度を調節するには、モニタを両端を手で抑え、見やすい角度まで前方または後方にモニタを傾けます。

机上にもっとスペースが必要な場合や、モニタの位置を自由に調節できるようにする必要がある場合は、可動アームまたは壁面取付けブラケットを購入してください。フラットパネルモニタの背面には、Video Electronics Standards Association (VESA) 標準のマウントが装備されています。可動アームはコンピュータ専門店にて購入できます。

---

---

## フラットパネルモニタの電源を切断する

フラットパネルモニタの電源を切断するには、モニタ正面の電源ボタンを押します (図 1-1 参照)。数時間以上モニタから離れる場合は、モニタの電源を切断してください。モニタのバックライトランプの寿命をかなりのばすことができます。

また、コンピュータにスクリーンセーバーや省電力機能が付いている場合は、これらの機能を使用します。CRT モニタと同じように、スクリーンセーバーは画像の画面への焼き付きを防止します。省電力機能を使用するとモニタのバックライトランプの寿命をのばすことができます。

省電力モードになっていると、モニタの LED ランプが黄色く点灯します。電力を元の状態に戻すには、マウスを動かすか、キーボードのキーをどれか押します。各コンピュータの説明に関しては、コンピュータのフラットパネルアダプタボードのマニュアルを参照してください。

---

---

## モニタ台からの取外しと取付け方

通常、フラットパネルモニタはモニタ台に設置しておきますが、アームや壁面ブラケットに取り付けるなどして、モニタ台から取り外す必要がある場合があります。

モニタ台からモニタを取り外しおよび取り付けるには、このセクションの下記の手順に従ってください。

取り外し作業は 2 人で行なってください。

## モニタ台からの取外し方

フラットパネルモニタをモニタ台から取外すには、以下の手順に従って作業を行います。

1. フラットパネルモニタに付属の3 mm 六角ねじドライバを取り出します。
2. モニタを一番高い位置まで上げます。そうすると、ねじの取り外しが簡単になります（図 1-3 参照）。
3. 背面にある2本のねじを取り外しやすいように、モニタを前方に動かし角度を変えます。

**メモ：** この2本のねじを取り外す時は、モニタを必ず支えてください。

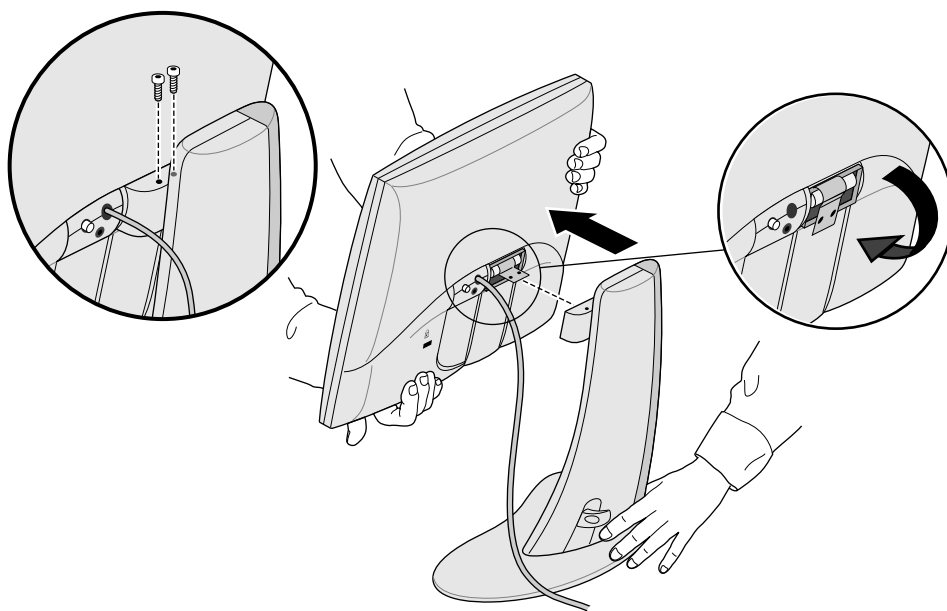


図 1-4 モニタ台からモニタを取り外す

4. 図 1-4 のようにモニタを支えながら、3 mm 六角ねじドライバを使って2本のねじを緩めて取り外します。このねじはモニタをモニタ台に固定するのに使われています。モニタを再度取り付ける際にこのねじは必要になりますから、保管しておきます。

5. モニタを手前に引きます。この時、もう 1 人の人にモニタ台を支えてもらう必要があります。
6. モニタ背面にある金属のつまみは折りたたむことが可能です（図 1-4 参照）。この時ペンチが必要です。

---

## モニタ台の取付け方

フラットパネルモニタをモニタ台に取り付ける手順は、取り外しの手順の逆になります。

1. 金属のつまみが折り曲げられている場合は、元に戻します。この時ペンチが必要です。
2. モニタ台とモニタ正面が手前に向いている状態で、両手でモニタを持ち上げ、ヒンジをモニタ台にある取付け穴にはめ込みます。

**メモ：** ねじを差し込むまでは必ずモニタを支えておいてください。

3. モニタを片手で支えながら、モニタを取り外した時に外した 2 本のねじを差し込み、締めます。

ねじを締めるには、モニタに付属のドライバまたはほかの 3 mm 六角ねじ用のドライバを使います。

---

---

## スクリーンセーバーの使い方

ご使用のコンピュータにスクリーンセーバープログラムがインストールされている場合は、それを使用します。CRT モニタの場合と同じように、スクリーンセーバーを使わずに画像を長時間放置しておくことは、画像がモニタへ焼き付く原因になります。

---

---

## 輝度の調節

輝度はソフトウェアコントロールパネルで調節します。輝度調節方法はコンピュータとアダプタボードによって異なります。詳細については、フラットパネルモニタのアダプタボードのマニュアルまたはユーザーズガイドを参照してください。

---

---

## ホワイトバランスの調節

フラットパネルモニタには、画面のホワイトバランスを設定するための SGI 独自の機能が装備されています。輝度調節の場合と同じように、ホワイトバランスはソフトウェアコントロールパネルで調節しますが、その方法はコンピュータとアダプタボードによって異なります。ホワイトバランス調節の詳細については、フラットパネルモニタのアダプタボードのマニュアルまたはユーザーズガイドを参照してください。

調節可能なホワイトバランス範囲の仕様は 24 ページの「技術仕様」を参照してください。

---

---

## センサーポートについて

フラットパネルモニタにはセンサーポートが装備されています。このセンサーポートは、直径 3.5 mm のジャックで、電源コネクタとインターフェイスケーブルの下にあります (図 1-1 参照)。

センサーポートは比色計など光と色を感知するデバイスに使用します (ユーザーのコンピュータがこのデバイスをサポートしている場合)。ユーザーズガイド、アダプタボードのマニュアルを参照してください。



LCD フラットパネルディスプレイを測定するよう設計されたセンサーデバイスのみを使用し、吸盤を使って画面に吸着するセンサーは使わないでください。この種のセンサーは計測が正確でない上、吸盤でディスプレイを傷つけることがあります。

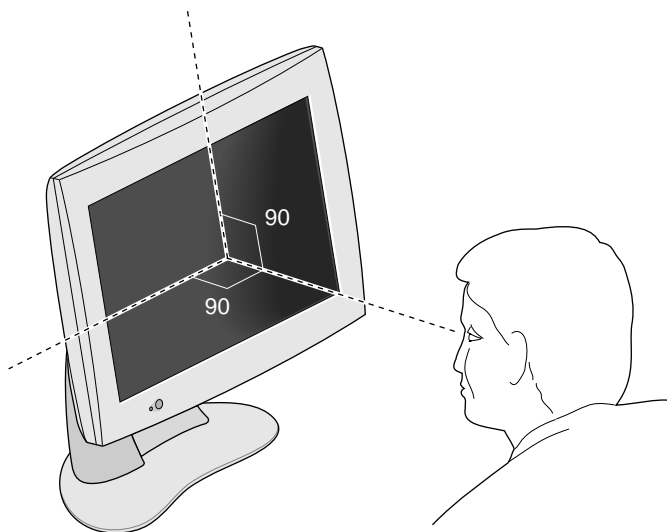
---

---

## 使用上の注意事項と表示角度

フラットパネルモニタをご使用の際は、下記の注意事項に従ってください。

- フラットパネルモニタのウォームアップには最低 1 分間必要です。
- 常にコンピュータのスクリーンセーバーを使用し、画像がモニタに焼け付くのを防止します。
- モニタから数時間以上離れる場合は、モニタの電源を切断します。こうすると、モニタのバックライトランプの寿命を飛躍的にのばすことができます。
- コンピュータが省電力機能をサポートしている場合は、それを使います。モニタのバックライトランプの寿命をのばすことができます。
- 最高のカラー表示を得るには、モニタと目の間の距離を 46 cm から 71 cm 離します。
- モニタの高さを調節して、画面の中央が目線の高さかやや下になるようにします。最適な輝度と正確な色彩を得るには、画面を目線に対しできるだけ直角にします (図 1-5)。表示角度の限度については、表 3-1 を参照してください。



**図 1-5** フラットパネルモニタの最適表示角度

- モニタ画面には特別なアンチグレアコーティングが施されていますが、グレアと反射を最小限に抑えるため、窓を含む光源に対し直角にモニタを設置する必要があります。反射を抑えるには、モニタの角度を調節します。
- モニタ画面をきれいにしておきます。詳細については、23 ページの「フラットパネルモニタの清掃および一般的手入れ」を参照してください。

---

## フラットパネルモニタの施錠方法

フラットパネルモニタを施錠する場合は、Kensington のロックを購入し、図 1-6 に示すように、モニタ背面にあるロックスロットに装着します。Kensington ロックは、SGI を通してはご購入いただけませんが、コンピュータショップなどでご購入いただけます。

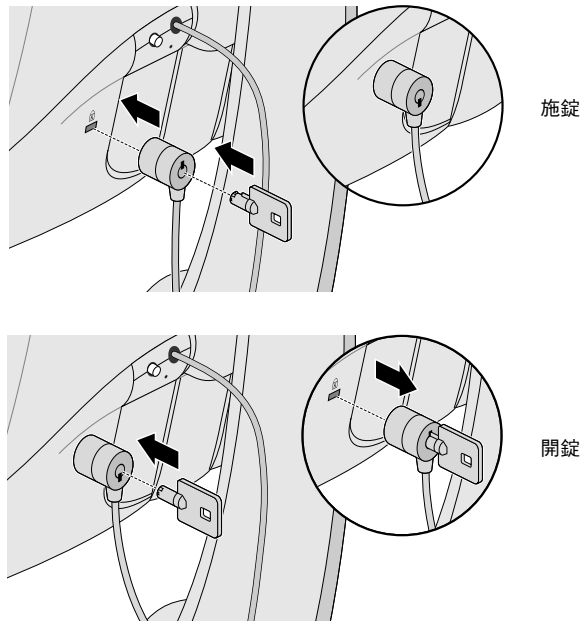


図 1-6 モニタの施錠と開錠方法



## 第2章

# トラブルシューティング

この章には、フラットパネルモニタ使用中に発生する可能性のある問題とその解決方法に関する情報が記載されています。トラブルシューティングの詳細については、ご使用のコンピュータのアダプタボードのマニュアルを参照してください。

---

---

### LED ランプが示すモニタの状態

フラットパネルモニタの左下にある LED ランプはモニタの状態を示します。表 2-1 は、LED ランプの示す内容と問題が発生した場合の解決方法の一覧です。

**表 2-1**     LED ランプ状態の説明

LED ランプ	状態番号	モニタの状態	考えられる原因と解決方法
LED ランプが 点灯しない	0	画面が 表示されない	電源ボタンがオフになっている。 電源ケーブルが接続されていない。 インターフェースケーブルが コンピュータに接続されていない。

**表 2-1**     LED ランプ状態の説明（続き）

LED ランプ	状態番号	モニタの状態	考えられる原因と解決方法
黄色に点滅	1	画面が表示されない	ソフトウェアが正しく構成されていません。コンピュータのアダプタボードのマニュアルを参照してください。  インターフェイスケーブルがしっかりと接続されていないか、または接続されていません。  アダプタボードが緩んでいるか、または正しく設置されていません。
緑色に点灯	2	画面が表示されていてバックライトの電源がオン	フラットパネルモニタは正常に作動しています。
黄色に点灯	3	システムが省電力モードのため画面が表示されない	キーボードまたはマウスからの動作がしばらくなかったため、システムの省電力モードにより画面が表示されなくなっています。マウスを動かすか、またはどれかキーを押して、モニタの電源をオンにします。

---

---

## トラブルシューティングのヒント

後続のセクションでは、トラブルシューティングに関する情報をさらに詳しく説明します。また、モニタのアダプタボードのマニュアルもすべて確認してください。

下記の問題解決のヒントに従っても、まだ問題が解決しない場合は、ご購入先に連絡してください。

---

## フラットパネルモニタに画像が表示されない

- フラットパネルモニタおよびコンピュータの電源が投入されているかを確認します。モニタ電源が切断されている場合は、モニタ左下の電源ボタンを押します。フラットパネルモニタは、完全な輝度を得るまでに約1分かかります。
- フラットパネルモニタ正面の LED ランプの色を確認し、表 2-1 から考えられる原因を探します。
- DC 電源ケーブルがフラットパネルモニタにしっかりと接続されていることを確認します。
- モニタを使用している国の基準に合った AC 電源ケーブル (110 V または 220 V) が AC アダプタと正常なコンセント、または電源コードにしっかりと接続されていることを確認します (4 ページの「ケーブルの接続」を参照)。
- インターフェイスクーブルがコンピュータのフラットパネルモニタ用のアダプタのコネクタにしっかりと接続されていることを確認します (4 ページの「ケーブルの接続」を参照)。
- フラットパネルモニタ用のアダプタボードをコンピュータに取り付けたばかりの場合は、ボードが正しく設置されていないか、またはそのソフトウェアが正しくインストールされていない可能性があります。ボードのインストールマニュアルの説明に従って、ハードウェアおよびソフトウェアを正しくインストールしたことを確認してください。また、ボードをコンピュータに取付け直して、正しく接続されていることを確認してください。
- コンピュータの電源投入時に、フラットパネルモニタがインターフェイスクーブルを通じてコンピュータに接続されていなかった場合には、コンピュータを再起動して、フラットパネルモニタに対し正しいタイミングテーブルが使われるようにします。

---

## 画像が明るすぎるまたは暗すぎる

フラットパネルモニタの画像は、見る角度によって（特に上または下から見た場合）明るすぎたり、暗く見えたりします。目線がモニタに対してできるだけ直角であることを確認してください（11 ページの「使用上の注意事項と表示角度」および表 3-1 を参照）。

動きの早いビデオの表示機能などを保持しつつ、モニタの表示角度をできるだけ広げるために、多大な技術開発を行なってまいりました。技術情報については、24 ページの「技術仕様」を参照してください。

---

## モニタの電源投入直後の画像が薄暗い

フラットパネルモニタが完全な輝度を得るまでには約 1 分間のウォームアップが必要です。このため、電源を入れた直後は、画像が薄暗かったり、褪せて見えます。これは、室温がフラットパネルモニタ起動時の輝度に影響するためです。例えば、室温が約 25°C の時、モニタの輝度は最高輝度の約 80% となりますが、室温が 10°C だと、輝度は最高輝度の 30% 程度しか得られません。

モニタが適温範囲内で作動している場合は、約 1 分間のウォームアップ中に、バックライトランプが暖められ、モニタは最高輝度に達します。適温範囲の詳細については、表 3-4 を参照してください。

---

## モニタ上の明るい点

画像が表示されている、いないに関わらず、モニタ画面の同じ位置に明るい点が見えることがあります。これは、薄膜トランジスタ（TFT）の液晶ディスプレイ（LCD）に特有のもので、画面が故障しているわけではありません。

---

## フラットパネルモニタの診断テスト

ご使用のコンピュータに診断テスト機能がある場合は、そのアダプタボードのマニュアルの説明を参照してください。



---

## SGI サポートサービスの連絡先

下記の表は、SGI のサポート電話番号の一覧です。サポート連絡先の最新情報については、<http://support.sgi.com/nt/contact/> をご覧ください。

国名	電話番号
アイルランド	0870-60744744
アメリカ	800-800-4744
アルゼンチン	0800-5-1002 に電話をおかけになり、発信音の後に 650-933-1980-4744 をダイヤルしてから、 992-0021 をダイヤルします。 または、31 3465-97221（有料）にお電話ください。
イギリス（UK）	0870-60744744
イスラエル	9-970 6677
イタリア	1678-23183
インド	000-127 に電話をおかけになり、発信音の後に 650-933-1980-4744 をダイヤルしてから、 993-0024 をダイヤルします。 または 61 02 6221 6524（有料）にお電話ください。
インドネシア	001-803-011-2502
オーストラリア	1800-818-549
オーストリア	0800-201705
オランダ	030-669-6700
カナダ	800-800-4744
ギリシャ	00800-12-5137
コロンビア	980-15-4537
シンガポール	65-776-0970
スイス（ドイツ語）	0800-804022
スイス（フランス語）	0800-804021
スウェーデン	08-470-0090

---

国名	電話番号
スペイン	900-234432
タイ	001-800-12-0662980
チリ	1230-020-2327
デンマーク	04327-0427
ドイツ	0130 112 550
ニュージーランド	0800-4744-4357
ノルウェイ	6711-4601
フィンランド	096-13-32-445
ブラジル	0008140-550-3510
フランス	01-3488 8888
ベネズエラ	8001-2509
ペルー	0800-5-1002 に電話をおかけになり、発信音の後に 650-933-1980-4744 をダイヤルしてから、 992-0021 をダイヤルします。 または 31 3465-97221（有料）にお電話ください。
ベルギー	02-6790052
ポルトガル	08008-12734
マレーシア	1-800-80-3226
メキシコ	52-5-267-1370
韓国	080-333-7373
香港	852-27843136
台湾	0080-13-9709
中国	10-800-120-0117
日本	0120 458 901

上記以外の国については、お客様の SGI 代理店にお問い合わせください。

---

---

## フラットパネルモニタの返送

購入先からフラットパネルモニタを返送するように指示された場合は、下記の手続きを行ってください。

**メモ：** フラットパネルモニタのアダプタボードを返送する場合は、その取り外しおよび返送の詳細について、アダプタボードのマニュアルを参照してください。

1. コンピュータの電源を切断します。フラットパネルモニタ背面から電源ケーブルを外します。
2. インターフェイスケーブルをコンピュータから外します。
3. 出荷時に付いていた保護プラスチックフィルムをモニタ画面に取り付けます。このプラスチックフィルムに汚れや埃などが付着していないことを確認してください。埃などが付着していると、モニタ画面を損傷する恐れがあります。
4. 購入先から指示があった場合は、フラットパネルモニタをモニタ台から取り外します (7 ページの「モニタ台からの取外しと取付け方」と 9 ページの「モニタ台の取付け方」を参照)
5. 交換用のフラットパネルモニタを受け取ったら、その箱と梱包材を使って故障したモニタを返送してください。または、最初にモニタを購入したときの箱と梱包材をお使いいただいても結構です。



## 第3章

# メンテナンス、技術仕様、規制準拠情報について

本章には、フラットパネルモニタの手入れ方法、技術仕様、および規制申告書に関する情報が記載されています。

---

### フラットパネルモニタの清掃および一般的手入れ

フラットパネルモニタは注意して取り扱う必要があります。ペンなど先の尖ったものはモニタ表面を傷つけ、フェルトペンなどのインクはモニタ表面に付くと、永久にとれなくなる場合があります。特に吸盤など、**モニタのガラス表面には一切なにも付着させないでください**（Post-it などのメモは問題ありません）。

埃などがモニタ表面に付着するので、最高の画像を得るには、時々モニタを清掃する必要があります。モニタを清掃するには、次の手順に従ってください。

**注意：** 柔らかい布だけを使用し、乾いたままか、水に湿らせて使用します。研磨材入り洗剤、化学雑巾、アルコール、またはアンモニアなどを使用すると、モニタ表面が損傷してしまいます。また、コーティングされたガラス表面に直接スプレーをかけないでください。液体がモニタ内部に入ると、故障の原因となります。

1. 布を水に湿らす時は、拭いたときに水分が流れ出さない程度に湿らせます。
2. 布でモニタのガラス表面をやさしく拭きます。

---

---

## 技術仕様

このセクションでは、フラットパネルモニタの技術仕様の一覧を記載します。  
追加技術情報を検索するには、下記のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.sgi.com/go/flatpanel>

下記の表 3-1 は、フラットパネルモニタの電氣的、光学的仕様の一覧です。

**表 3-1** フラットパネルモニタ 1600SW の電子光学仕様

仕様	数値
輝度	最低 170 Cd/m <sup>2</sup> ~ 最高 235 Cd/m <sup>2</sup> 未満
カラー解像度	16,700,000 色 True Color
コントラスト	350:1(通常)
表示範囲	369.6 mm x 236.5 mm 対角 44 cm(17.1 インチ)
輝度調節範囲	35% ~ 100%
モニタ表面	正面:アンチグレア 3H ハードコート
ピクセルピッチ	0.077 x 3 mm(横)x 0.231 mm(縦)
ピクセル解像度	1600 x RGB x 1024 (4,915,200 サブピクセル)
応答時間	40 ms(一般的な点灯、消灯を組み合わせ て使用した場合)
表示角度	水平:±60° 垂直:+45°/-55°
ホワイトバランス調整範囲	5000°K ~ 7000°K(ホストコンピュータの ソフトウェアから調節可能)

表 3-2 は、フラットパネルモニタの電力仕様の一覧です。

**表 3-2** フラットパネルモニタ 1600SW の電力仕様

仕様	数値
入力	110/220 VAC、50/60 Hz 自動切換え (AC アダプタ)
出力	最大 3 A で 12 VDC
電力消費量	
通常表示	30 W
定輝度表示	20.4 W
スリープモード	2.5 W (バックライトと LCD はオフの状態)

表 3-3 は、フラットパネルモニタに使用されているケーブルの一覧です。

**表 3-3** フラットパネルモニタ 1600SW 用ケーブル

ケーブル	仕様
モニタケーブル	2.75 m、シールド付き、16 ツイストペア導体、 モニタ側は内部に直接接続
電源ケーブル	
AC 電源ケーブル	IEC ソケット付き取外し可能 1.5 m ケーブル (コンセントに接続)
DC 電源ケーブル	ほとんどのモデルは AC アダプタと一体 長さ 2 m

表 3-4 は、フラットパネルモニタの諸元の一覧です。

表 3-4 フラットパネルモニタ 1600SW の諸元

仕様	数値
モニタサイズ	高さ 320.3 mm x 幅 454 mm x 奥行き 63.6 mm
モニタ台サイズ	高さ 19 mm x 幅 356 mm x 奥行き 171 mm
重量	7.26 kg
色	グレイ／ブルー
デスクトップでの使用	デスクトップで使用の際はモニタ台により傾斜角 +15° ～ -5° の調節可能 10 段階の高さ調節 1 段階につき 9.5 mm で最大 95 mm まで調節可能
温度	
動作中	+13°C ～ +35°C
停止状態	-20°C ～ +60°C
相対湿度	
動作中	10% ～ 85%、結露のないこと
停止状態	5% ～ 90%、結露のないこと
振動(動作中および停止状態)	0.3G (2.9m/s <sup>2</sup> )、5-500 Hz 正弦波振動
衝撃(動作中および停止状態)	98 m/s <sup>2</sup> 、2 ms (1/2 正弦波)
高度(動作中)	3,048 m



---

---

## 製造者による規制準拠の告知

規制申告書の詳細については、本書巻末の付録 A、「Warranty Information」を参照してください。

本製品は米国内および国際製造仕様、「Manufacturer's Declaration of Conformity」に記載されているヨーロッパの製造指示書に準拠しています。各製品に表示されている CE マークはヨーロッパの製造要件に本製品が準拠していることを示しています。

**注意：** 本製品は政府および第三者の承認、ライセンス、許可を受けて製造されています。本製品を SGI 社の許可なく改造しないでください。改造した場合は、本製品を使用するための承認および行政機関の許可を失うことになります。

---

## シールドケーブル

フラットパネルモニタは、シールドケーブルの使用を含めた検査の結果、FCC に準拠しています。シールドケーブルは、ラジオ、テレビなどからの電波妨害を抑えます。SGI 社が提供する以外のケーブルを使用する場合は、ケーブルがシールドされていることを確認してください。

フラットパネルモニタとホストコンピュータまたはアダプタボードを接続するケーブルには、電波障害の発生を抑えるため、ケーブルジャケットに追加フィルタがはめ込まれています。モニタケーブルが損傷した場合は、ご購入先にご連絡ください。

---

## 静電放電について

SGI 社は静電放電 (ESD) の影響を受けない製品を設計し検査しています。ESD は電磁妨害発生の原因で、データの消失やシステムの異常停止、さらには機器の故障を招くなど、様々な問題を引き起こします。

フラットパネルモニタとホストコンピュータまたはアダプタボードを接続するシールドケーブルは正しく接続され、破損していない必要があります。



# 付録 A

## 準拠の告知

以下のセクションは、フラットパネルモニタの準拠に関する情報を通知します。

---

### FCC クラス B の準拠

以下は、FCC 準拠の対象となる、本書で説明した製品情報です。

Trade Name	Silicon Graphics, Inc.
製品名	Silicon Graphics 1600SW フラットパネルモニタ
モデル番号	AM173Y01
認可日	1998 年 9 月
Responsible Party	Mitsubishi Inc.
住所	〒 861-1198 熊本県菊池郡西合志町御代志 997
電話番号	096-242-5856

上記の製品は、FCC 規格のパート 15、クラス B に準拠しています。この製品の準拠は、以下の 2 つの条件としています。(1) 本製品は有害な干渉を引き起こしません。(2) 本製品は、誤動作を引き起こす恐れのあるものを含め、受信した電波をすべて受け入れます。

本製品はテストに合格し、FCC パート 15、クラス B への準拠が認められています。この規格は、家庭で使用する電子機器を有害な電波から保護することを目的としています。本製品は、ラジオ波を生成、使用、放射し、説明書に従って設置および使用されない場合は、ラジオ通信に有害な電波干渉を引き起こす場合があります。ただし、特定の設置方法で、電波干渉が発生しないことを保証をするものではありません。本製品が、ラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合は、本製品の使用者は、以下の方法でその干渉を修正するよう努めてください。

- 受信アンテナの方向または位置を変える。
- 本製品と受信機との距離を広げる。
- 本製品を受信機が接続されている電気回路とは別の回路にあるコンセントに接続する。
- 販売代理店、または経験のあるラジオまたはテレビ技術者に相談する。

---

## 電磁放射

本製品は、FCC 規格のパート 15、クラス B に準拠しています。この準拠は以下の 2 つを条件としています。

- 本製品は有害な電波を引き起こしません。
- 本製品は、誤動作を引き起こす恐れのある電波も含め、受信した電波をすべて受け入れます。

また、本製品は、C.I.S.P.R. パブリケーション 22、および Limits and Methods of Measurement of Radio Interference Characteristics of Information Technology Equipment の電磁放射に関する規格にも準拠しています。



---

## ENERGY STAR

SGI は、本製品が ENERGY STAR の省エネルギーに関するガイドラインを満たしていることを認めます。



---

## TCO '95 ガイドライン

本製品は TCO '95 ガイドラインに準拠しています。

---

## カナダの規制告知（カナダのみ）

This Class B digital apparatus meets all requirements of the Canadian Interference-Causing Equipment Regulations.

Cet appareil numérique n'émet pas de perturbations radioélectriques dépassant les normes applicables aux appareils numériques de Classe A prescrites dans le Règlement sur les interférences radioélectriques établi par le Ministère des Communications du Canada.

---

---

## CE 告知



「CE」マークは、ヨーロッパ共同の規格に準拠していることを示しています。SGI では、上記の規格に従った「Declaration of Conformity」を作成しておりますので、ご請求次第、お渡しすることができます。

---

---

## VCCI 告知（日本のみ）

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取扱いをして下さい。

---

---

## 韓国の規制告知

이 기기는 가정용으로 전자파적합등록을 한 기기로서 주거지역에서는 물론 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

---

---

## NOM 024 情報（メキシコのみ）

La información siguiente se proporciona en el dispositivo o en dispositivos descritos en este documento, en cumplimiento con los requisitos de la Norma Oficial Mexicana (NOM 024):

Exportador:	Mitsubishi, Inc.
Importador:	Silicon Graphics, Inc.
Embarcar a:	Av. Vasco de Quiroga No. 3000 Col. Santa Fe C.P. 01210 México, D.F. México
Tensión alimentación:	100/250 VAC
Frecuencia:	50/60 Hz
Consumo de corriente:	3 A @ 12 VDC

---

---

## EN 55022 準拠（チェコ共和国のみ）

Pokud není na typovém štítku počítače uvedeno, že spadá do třídy A podle EN 55022, spadá automaticky do třídy B podle EN 55022. Pro zařízení zařazená do třídy A (ochranné pásmo 30m) podle EN 55022 platí následující. Dojde-li rušení telekomunikačních nebo jiných zařízení, je uživatel povinen provést taková opatření, aby rušení odstranil.

---

## ポーランドの規制告知（ポーランドのみ）

Współpracujące ze sobą urządzenia (komputer, monitor, drukarka) powinny być zasilane z tego samego źródła.

Instalacja elektryczna pomieszczenia powinna zawierać w przewodzie fazowym rezerwową ochronę przed zwarciami, w postaci bezpiecznika o wartości znamionowej nie większej niż 10A (amperów).

W celu całkowitego wyłączenia urządzenia z sieci zasilania, należy wyjąć wtyczkę kabla zasilającego z gniazdka, które powinno znajdować się w pobliżu urządzenia i być łatwo dostępne.

### Pozostałe Instrukcje Bezpieczeństwa

- Nie należy używać wtyczek adapterowych lub usuwać kołka obwodu ochronnego z wtyczki. Jeżeli konieczne jest użycie przedłużacza to należy użyć przedłużacza 3-żyłowego z prawidłowo połączonym przewodem ochronnym.
- System komputerowy należy zabezpieczyć przed nagłymi, chwilowymi wzrostami lub spadkami napięcia, używając eliminatora przepięć, urządzenia dopasowującego lub bezzakłócenowego źródła zasilania.
- Należy upewnić się, aby nic nie leżało na kablach systemu komputerowego, oraz aby kable nie były umieszczone w miejscu, gdzie można byłoby na nie nadeptywać lub potykać się o nie.
- Nie należy rozlewać napojów ani innych płynów na system komputerowy.
- Nie należy wpychać żadnych przedmiotów do otworów systemu komputerowego, gdyż może to spowodować pożar lub porażenie prądem, poprzez zwarcie elementów wewnętrznych.
- System Komputerowy powinien znajdować się z dala od grzejników i źródeł ciepła. Ponadto, nie należy blokować otworów wentylacyjnych. Należy unikać kładzenia luźnych papierów pod komputer oraz umieszczania komputera w ciasnym miejscu bez możliwości cyrkulacji powietrza wokół niego.



## 付録 B

# Silicon Graphics フラットパネルモニタサービス保証書

日本シリコングラフィックス株式会社（以下「日本 SGI」という）は、お客様（以下「甲」という）が日本 SGI より購入した米国シリコングラフィックス社製品 Silicon Graphics フラットパネルモニタ（以下「対象製品」という）に対して、通常の稼働状態に保つよう以下のようなサービスを保証いたします。

### 第1条 保証サービスの対象

特別の定めがない限り、対象製品のみを保証の対象とします。

### 第2条 保証サービスの具体的内容

本契約に基づく保証サービスは、保証対象製品に製造上または材質上の欠陥が存在した為、保証期間中に機能しなくなった構成部品を日本 SGI の選択に従い修理または交換することに限られます。交換された構成部品は日本 SGI の所有物となります。但し、天災、火災、停電、盗難および甲のシステム取扱いに関する過失または日本 SGI の責に帰さない事由に起因する障害については、本契約により提供される保証サービスの対象外とします。

#### (I) 標準保証

センドバック方式にて故障同等品に交換を実施いたします。日本 SGI のテクニカルサポートセンターにご連絡の上、故障品を日本 SGI の定める返送方法に従い返送してください。日本 SGI の修理基準に従い、交換品あるいは修理品を返送いたします。

#### (II) 保証サービスの起算

出荷日の7日後から起算して3年間とします（正当な理由により起算日を変更される場合には、同封のはがきでの連絡が必要となります）。但し、フラットパネルのバックライトは、1年間とします。

### 第3条 保証サービスの条件

本契約に基づく保証サービスの提供は、甲が本条1項から5項に従うことを条件とします。

- (1) 甲は、保証対象製品を日本SGIの定める環境条件下で安全かつ適切に運用および管理を行うこと。
- (2) 甲は、機器の故障が発生した場合、速やかに故障および故障に関わる現象を日本SGIに連絡すること。
- (3) 甲は、内部構成の変更および改造、シリアル番号の削除を行わないこと。
- (4) 甲は、日本SGIの実施する作業に必要な場所を確保し、関連する機器および電源通信設備、光熱の使用を認めること。
- (5) 甲による対象製品の適切な取扱いおよび使用がなされていること。また、対象製品設置場所が安全かつ適切に管理されていること。

### 第4条 保守作業の時間帯

- (1) 第2条に定める保守作業は、本条2項に定める時間帯に限り提供されます。
- (2) 月曜日から金曜日の午前9時から午後5時までとします（但し、祝祭日および年末年始休暇は除く）。

### 第5条 パーコール

- (1) 甲が故障と判断した保証対象製品について本契約に基づく保証サービスの範囲外の場合、その時点で有効な料率（パーコール料率）に従った料金（消費税も含む）をお支払い頂くものとします。
- (2) 前項のパーコール保守料金は日本SGIが発行した請求書の日付から60日以内にお支払い頂きます。

### 第6条 保証責任の否認

日本SGIは、本契約に明記された保証以外にはいかなる保証（明示、黙示、その他を問わず商品としての適格性および特定目的への適合性を含めた全ての保証）をここに否認させていただきます。

### 第7条 賠償責任

- (1) 日本SGIは、あらゆる種類の直接、間接、不随、特別または結果損害（得べかりし利益の損失を含みますがこれに限定されるものではありません）に関する一切の責任を負担いたしません。
- (2) 本条1項の規定は、日本SGIが甲よりその損失発生の可能性について通知を受けていたか否かを問うものではありません。

## 第8条 契約の譲渡

甲は、日本SGIの事前の書面による承諾のない限り、本契約および本契約により生じる権利、業務の一部または全体を第三者に譲渡または承継させることはできないものとします。

## 第9条 協議事項

本契約の規定に関する解釈上の義務または規定のない事項については日本SGIと甲が協議し解決するものとします。

## 第10条 管轄裁判所

日本SGIおよび甲は本契約に関する管轄裁判所を東京地方裁判所とすることに同意します。

本製品は、(1) 核関連施設、(2) 航空機、航空機での通信、航空機の地上サポートシステム、または(3) 救命サポートシステムに関連した使用を目的として、設計または製造されていません。日本SGIは、このような使用で生じた損害に対し一切の責任を負いません。

